

択捉焼山の火山活動解説資料（平成25年 3 月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

29日に気象衛星で海拔約2,000mの高さの噴煙が観測されました。択捉焼山で噴火が発生した可能性があります。

○ 活動概況（図1～2、表1）

29日20時00分の気象衛星（MTSAT-2）画像で、海拔約2,000mの高さの噴煙が観測されました。択捉焼山（標高1,158m）で噴火が発生した可能性があります。これに伴い、気象庁東京航空路火山灰情報センターは29日21時37分に航空路火山灰情報¹⁾を発表しました。その後、気象衛星画像で噴煙は観測されていません。

気象衛星画像により択捉焼山の噴煙が検知されたのは、2012年8月25日以来です。

- 1) 航空路火山灰情報は、航空機が火山灰を回避するなど、航空機の安全運航のために発表している情報です。世界9か所に情報提供を行なうセンターが設置されており、東京センターでは東アジア及び北西太平洋領域を担当しています。

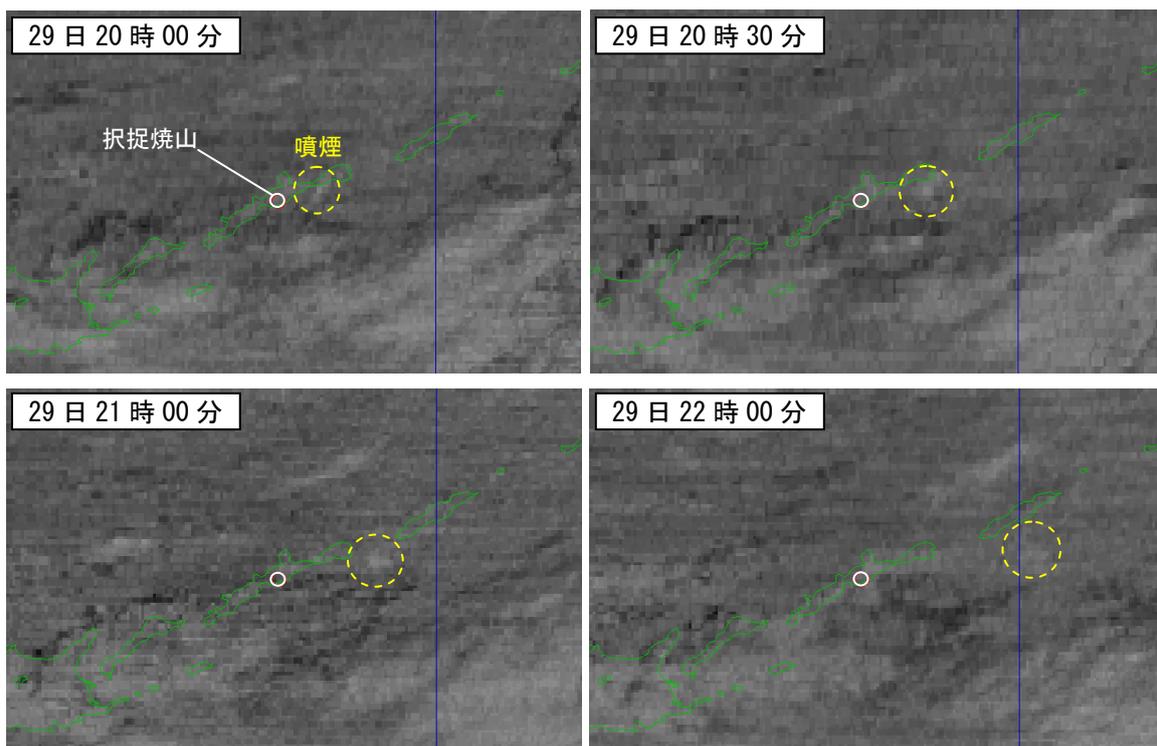


図1 択捉焼山 29日に気象衛星画像で観測された噴煙（火山灰）
（気象衛星（MTSAT-2）画像はすべて赤外差分画像²⁾。白色の○印は択捉焼山。黄色の破線内は噴煙。）

- 2) わずかに波長の違う2つの画像の差をとることによって、火山灰や黄砂を白く浮き上がらせて判別しやすとした画像です。

表 1 択捉焼山 記録に残る火山活動

発生年月	主な現象
1968 (昭和43) 年2月	噴火。
1970 (昭和45) 年	噴火。
1973 (昭和48) 年1月初旬	噴火：山頂火口で小爆発。
1973 (昭和48) 年5月16日	噴火：山頂火口で一連の強い爆発。大きな火口形成。
1989 (平成元) 年5月3～14日、 6月19日、8月上旬	噴火：爆発、噴煙高度2,000m。
2012 (平成24) 年8月15～26日	噴火：噴煙高度4,000～5,000m。

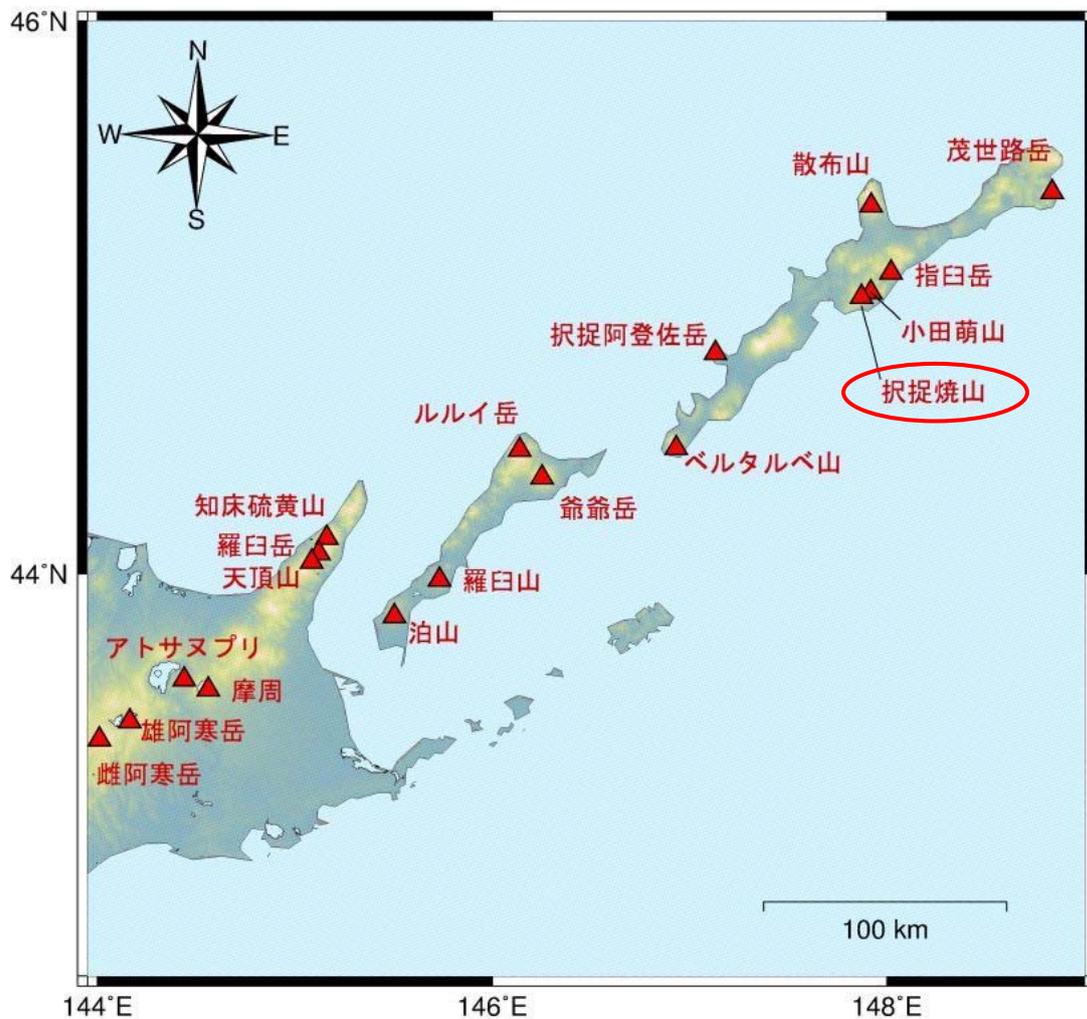


図 2 択捉焼山の位置